

# 哲 學 研 究

第 八 卷 第 五 册

第 八 十 六 號

大 正 二 十 年 五 月 一 日 發 行

繪畫の優劣は如何にして可能なるか(三)……………

……………文學士 植田 壽藏

道 德 的 美……………文學博士 深田 康算

綜合的統一について……………文學士 三宅 剛一

ポイントの社會連帶思想……………文學博士 米田庄太郎

バスカルの「賭」……………小林太一郎

トルルチ逝く、講議題目、其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內

京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、 毎月一回研究会ヲ開ク
  - 一、 毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、 毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、 委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、 書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

### 京都哲學會役員

### 書記

文學士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士
植田	狩野	小西	高坂	澤村	高瀬	田邊	千葉	朝永	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	務臺	米田	寶嚴			
壽藏	直喜	重直	正顯	專太	武次	邊元	胤成	三十郎	幾多郎	俊夫	精一	康算	治郎	三郎	理作	太郎	方夫			

## 精神病学

哲學研究 第八十六號

今村 2 精神病学

## 寄贈書籍雜誌

宗敎問題の  
最後の解決文工學士 白井賴吉著  
東京 博文堂書店

行の哲學

文學博士 紀平正美著  
東京 岩波書店

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、敎育研究、  
 内外敎育評論、學校敎育、敎育、敎育學術界、國際聯盟、敎育時  
 論、敎育界、藥王樹、三田文學、佛敎研究、東洋思想研究、支那  
 學、講座異端者、兵庫敎育、信濃敎育

## 前 號 目 次

山鹿素行に於ける古學思想の發達……………	文學士 加藤 仁平
神學の方法論に關する考察……………	文學士 久松 眞一
主觀的普遍に就て……………	文學士 務臺 理作
物理學の基礎(カウイツド・ヒルベルト)……………	文學士 三土 興三

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候  
 二、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六叁番

註 文 規 定

◎ 會員ニあらざる譯讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候  
 ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎ 振替貯金にて御送金は（振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番）内外出版株式會社宛に願上候  
 ◎ 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券差錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金四拾錢	壹錢
六冊	冊	金貳圓四拾錢	不申
十二冊	冊	金四圓八拾錢	不申

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十二年四月廿五日印刷納本  
 大正十二年五月一日發行  
 第八十六號 第八卷 第五册  
 京都帝國大學文學部内

不許複製  
 禁轉載

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

編輯者 寶 嚴 方 夫  
 右代表者 寶 嚴 方 夫  
 發行者 大谷仁兵衛  
 印刷者 村上勘兵衛  
 印刷所 京都市西洞院通七條南入  
 京都市西洞院通七條南入  
 京都市西洞院通七條南入

本社 京都市下京區西洞院通七條南  
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ一  
 内外出版株式會社

賣捌所  
 (東京) 東京堂 東海堂 北陸館  
 (大阪) 上田屋 至誠堂  
 (神戸) 盛文館 三文社  
 (京都) 寶文館 川瀬書店 共盛社 大盛社

經濟學士 白川威海譯 文學士 土田杏村解説

再版

# ギルド社會主義の理論と政策

現今社會思想の建設發達に貢献した根本資料として、歴史的に一礎石の價値を擔ふ名著を、或は解説し、或は翻譯し、以て研究者社會運動家に資せんが爲め刊行せられた叢書の一冊である。ギルド社會主義最近の理論と政策の全輪廓を知るには、コール氏の「ギルド社會主義再論」は最適であるから、本書は其れを臺本として全譯解説した。我國で多く論ぜられるのは其初期の思想に過ぎない。ギルド社會主義の組織立ての全く完成した今日のものを知るには、本書ほど適當して居るものはあるまい。

四六判五百餘頁  
バビリン美装  
定價貳圓  
郵稅拾七錢

(大正五年四月六日)大正十二年四月二十五日刷(納)本  
第三種郵便物認可(大正十二年五月一日發行)毎月一回(日發行)

哲學研究第八十六號

定價金四十錢

郵稅金壹錢

社會式株版出外内 (坂穴座日替振) 南條七院洞西市都京 元兌發  
(坂番五五九貳參)